

すべてのステークホルダーの皆さまへ



One

オリンパスは今、
新たなステージへと力強く歩みを進めています。
私はその先頭に立ち、全社・全員の想いを一つにし、
確かな成長を実現します。

私が2012年に社長に就任してから、早くも4年が経過しました。一連の問題を契機に新しいオリンパス創生に向けて発足した私たち現経営陣は、信頼回復と株主価値向上を第一に舵取りを進めてきました。オリンパスを必ず復活させる、という強い想いを持ってガバナンス体制を再構築し、また、危機的状況にあった財務体質を大きく改善させました。主力の医療事業は大変好調に推移し、2016年3月期の当期純利益は過去最高を更新しました。さらに、これまでは米国司法省との協議等さまざまな不確定要素がありましたが、こうした課題も着実に解決し、一定の原資も確保できる状態となったことから、配当を再開することができました。このように、4年間で概ねねらい通りの成果に結びつけられたと評価しています。また、2015年4月からスタートさせたマトリックス型の新組織体制になり、事業や地域を超えた議論が増えましたし、グローバルベースでの連携等、非常にうまく機能し始めています。

2016年は、新しい中期経営計画「16CSP」のスタートの年です。経営陣で十分な議論を積み重ねたこの戦略を、2016年3月、都内ホテルで開催した当社初となる「IR DAY」において発表しました。そして、IR DAYに続き私とCFOの竹内が世界中の多くの機関投資家を訪問し、方向性や考え方、さらに成長戦略を説明してまいりました。多くのポジティブなご意見や評価をいただき大変有難く思います。今後の当社への強い期待を感じるとともに、オリンパスは今、力強く前に進んでいる、そう手応えを感じています。

16CSPは、経営の再建ステージからギアをシフトアップし、次のステージである、将来の持続的な発展・成長に向けて当社を導いていく大変重要な戦略です。医療分野における確固たるグローバルプレーヤーを目指して、今私たちは新しい成長ステージへと舵を切りました。3年後の2019年には、創立100周年の節目を迎えます。その次の100年の持続的な発展に向けてより足下を盤石にするとともに、攻めの事業ポートフォリオを構築し、企業価値向上に取り組んでまいります。当社は、オーガニックな成長が期待できるグローバルでも数少ない会社だと自負しています。真のグローバル企業への飛躍を目指して、積極的にチャレンジしていきます。皆さまの期待に必ず応える、そうした強い意志で会社を導いていくことをお約束します。是非ご期待ください。

2016年8月

代表取締役社長執行役員

笹宏行

Olympus